

14

12.10 (土)

14:55~16:25

文化情報学部

いわもと ま ゆ こ

岩本 真裕子 准教授

数理モデルとは何か

—数学を通して見る社会現象・文化現象—

メッセージ

COVID-19 の流行予測でも注目された「数理モデル」とは？
さまざまな数理モデルに触れて、数学の良さを再発見しましょう。

概要

ドイツの生物学者、ユクスキュルが提唱し、哲学の分野に大きな影響を与えた「環世界 (umwelt)」を知っていますか。生物はそれぞれ主体的な知覚世界を持っていて、その主体的な世界で行動しているという考えです。同じ環境にいても、見ているもの、感じているものは生物によって違う、ということですが、私たち人間ではどうでしょうか。同じ空間にいたとしても、一人ひとり感じていること、考えていることは違いますよね。では、見えている世界は違うのでしょうか。

算数のように日常で使わないのになぜ数学を勉強しないといけないの？と疑問を持っている皆さん。それは数学を知ることで見える世界が大きく変わるからです。今回の講義では、私たちの身の回りに起こる社会現象・文化現象が、数学を通して見るとどのように見え、そしてどのように理解できるのかについて、データサイエンスとの関係や高校数学で学ぶ「微分」を使った数理モデルとともにお話しします。